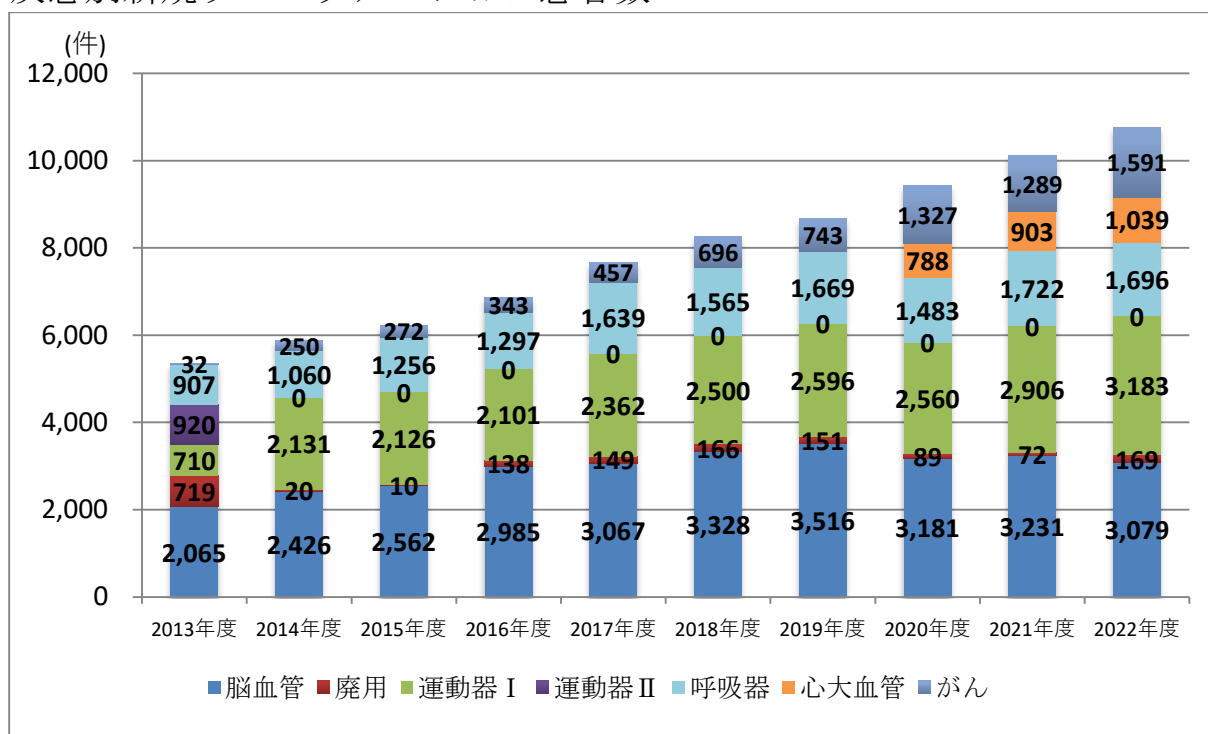


## 疾患別新規リハビリテーション患者数



リハビリテーションの重要性が認識され、診療報酬上でもより多くの算定が可能となっている。当院においてもリハビリテーション実施件数が増加傾向にあり、その中で新規開始患者数も増加している。

グラフ中、2013年度からは「がん」のリハビリテーションが加わった。「がん」リハビリテーションは、がんの罹患数増加と生存率上昇に伴い今後ますます増加していくと思われる分野であり、療法士数の増加、設備面での拡張が必要と考える。また2020年度より「心大血管 I」の算定が可能となった。これにより、心筋梗塞、心不全など循環器疾患に対するリハビリテーションの充実を図りたい。

データ提供 リハビリテーション部